

# 復興へ向けて

One for All, All for One

中同協東日本大震災復興  
対策本部ニュース No.7

発行日：2011年5月12日

発行：中小企業家同友会全国協議会(中同協)

## 日本再生の総会(中同協第43回定時総会・札幌)としてのぞもう ～地域の再生を担える仲間を増やし、強く大きい同友会に

広浜泰久・中同協東日本大震災復興対策本部長(5万名推進本部長)

この未曾有の国難からの復興をめざす中、中同協第43回定時総会が7月5～6日、札幌で開催されます。「中小企業憲章制定一周年、中小企業家の総力を結集して、日本再生に挑もう」をスローガンに開かれます。

被災地における取り組みでは、中小企業、そして同友会がその先頭に立っていることを示していただいています。本総会の2日目には岩手、宮城、福島からの特別報告もお願いしています。

震災の間接的影響が全国くまなく及んでいる中で、地域復興と人間復興を考えて、地域密着で雇用と暮らしを維持すること。それによって日本全体の再生を図ることが求められています。

中小企業憲章制定一周年を期して、それをより具体的に実現させていく運動を強め、私たちが望む「中小企業が主役の社会」を展望することに着手する総会にしていきましょう。

各同友会で会勢を大きく伸ばしてこの総会を迎え、「地域と日本再生」のための飛躍の場としていきましょう。



**義援金** 5月11日現在  
250,665,332円

\* 中同協に振り込まれている額

<被災地への送金額>

青森、岩手、宮城、福島、茨城の5同友会に送金し、これまでに合計1億9200万円を送っています。

## 経営支援物資を送る

各同友会からは被災地に向けて次々と経営支援物資が寄せられています。

これまでに群馬同友会からはスタンド型風力太陽光発電機((株)松村機械製作所寄贈)、三重同友会の共同受注・共同開発グループ「ビタミンみえ」からソーラークッカー(太陽熱調理器)、兵庫同友会ワット神戸からはワット神戸が開発した携帯型太陽光電源装置「イーポットマリーン」が寄贈され、会員の開発した商品が被災地を支援しています。

また、中古パソコンや自転車も数多く寄せられ、企業再生に向けた取り組みを励ましています。

全国の皆さんのさらなるご支援をよろしく願います。

## 希望の鯉のぼり～全国の仲間に感謝

### 被災地から【岩手】

#### 合同企業説明会に昨年超える180名の学生

岩手同友会では、5月11日に盛岡市内で合同企業説明会を開き、会員企業11社に対し、学生は昨年を上回る180名超が参加しました。

参加企業数は半減したものの、「ふるさとで働きたい」という学生が増え、この日に合わせて北海道の大学の学生が里帰りしてきたというケースもありました。

#### 陸前高田に泳ぐ800匹の鯉のぼり

5月1日～8日までの7日間(5月2日は強風のため中止)岩手同友会の「けせん朝市」が陸前高田市で開かれ、のべ2000名の来場者がありました。

「街の復興のためには、早く商店を復活させなければ」と支部会員が同友会の枠を越えて呼びかけ、10店が集まりました。飲食店も11店が日替わり出店しました。

全国から送られた100台の自転車配布には約200名が列をつくり、800匹の鯉のぼりが来場する子どもたちの歓声を誘いました。子どもたちが無地の鯉のぼりにペイントする光景が、全国的にテレビ放映されました。

朝市の会場から見下ろせば、まだがれきの残る気仙川。しかし、希望の鯉のぼりとともに、前を向いて岩手の会員の仲間たちが奮闘しています。

詳細はDOYUNETで。<http://www.doyu.jp/>